



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2019年11月13日

上場会社名 アーキテツ・スタジオ・ジャパン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6085 URL <http://www.asj-net.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 丸山 雄平
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長兼 管理部長 (氏名) 山口 裕司 (TEL) 06-6363-5701
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	344	△39.0	△314	—	△311	—	△312	—
2019年3月期第2四半期	564	△10.9	△37	—	△40	—	△41	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2020年3月期第2四半期	△193.25		—					
2019年3月期第2四半期	△25.67		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	801	572	71.4
2019年3月期	1,209	857	71.0

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 572百万円 2019年3月期 857百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,125	△12.1	△154	—	△152	—	△153	—	△94.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年3月期2Q	1,634,750株	2019年3月期	1,614,750株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2020年3月期2Q	3,975株	2019年3月期	3,625株
------------	--------	----------	--------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2020年3月期2Q	1,616,733株	2019年3月期2Q	1,612,855株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、米中貿易摩擦の長期化をはじめとする世界経済の不確実性の増大等により、企業の生産活動や輸出面での減速感が顕在化し、先行き不透明感が強まる状況となりました。

住宅業界におきましては、新設住宅着工戸数は前年同月に比べ3か月連続の減少となり、持家の着工についても弱含みの状況となりました。

このような状況のもと当社は、建築家情報空間「ASJ CELL」において開催される著名建築家による作品展示会や海外と共同開催する建築展、文化セミナーでの来場者、紹介によって入会したアカデミー会員へ直接働きかけることにより、顧客満足度の高い提案を行い、受注契約の促進を図ってまいりました。

また、ASJリゾートをコンセプトに、5月に「ASJ Yokohama Satellite」を横浜ランドマークプラザの商業施設内に新設し、さらに「ASJ Shonan Satellite」の開設に向けて8月に神奈川県鎌倉市に準備室を新設し、顧客により身近なリゾートライフの提案発信を開始いたしました。

しかしながら、当第2四半期累計期間の見込において、消費税増税に伴う経過措置の影響などから、加盟スタジオでの建築設計・監理業務委託契約件数や工事請負契約金額が低迷するとともに、顧客に直接プロデュースを行うビジネス（プロデュースビジネス）で第2四半期に契約締結を予定していた案件の大半が第3四半期以降に遅れたことにより、工事請負契約ロイヤリティ売上は前年同四半期比68.8%減少いたしました。

また、稼働スタジオ数も減少したことから、定額ロイヤリティ売上、マーケティング売上等も減収となり、当第2四半期累計期間の売上高は344,440千円（前年同四半期比39.0%減）となりました。

損益面においては、当社では加盟建設会社の倒産等により工事の継続が不能となった物件について、当該物件の完成・引渡しにかかる工事費用の一部を負担する保証サービスを行っておりますが、加盟建設会社の2社に当該保証サービスを適用したことにより工事完成保証損失引当金繰入額14,233千円と工事完成保証損失12,433千円、さらに貸倒引当金繰入額29,407千円を販管費及び一般管理費に計上いたしました。

以上の結果、営業損失は314,296千円（前年同四半期営業損失37,658千円）、経常損失は311,702千円（前年同四半期経常損失40,662千円）、四半期純損失は312,434千円（前年同四半期純損失41,395千円）となりました。

なお、当社はASJ建築家ネットワーク事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における総資産は801,208千円となり、前事業年度末と比べて407,830千円減少いたしました。

流動資産は前事業年度末に比べ、441,081千円減少し、566,562千円となりました。これは主として現金及び預金の減少120,686千円、売掛金の減少248,388千円、未収入金の減少90,029千円等によるものであります。

固定資産は前事業年度末に比べ、33,250千円増加し、234,646千円となりました。これは主に建物の増加22,231千円、ソフトウェア開発に伴うソフトウェア仮勘定の増加13,500千円等によるものであります。

当第2四半期会計期間末における負債合計は228,884千円となり、前事業年度末と比べて122,296千円減少いたしました。これは主に未払金の減少104,195千円、その他負債の減少32,695千円等によるものであります。

当第2四半期会計期間末における純資産は572,324千円となり、前事業年度末と比べて285,534千円減少いたしました。これは主に四半期純損失312,434千円を計上したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前事業年度末に比べ、120,686千円減少し319,142千円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の減少は94,513千円（前年同四半期は70,493千円の減少）となりました。これは主に、売上債権の減少額256,854千円、未収入金の減少額90,029千円等の収入要因のほか、税引前四半期純損失311,702千円、未払金の減少額105,285千円等の支出要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は25,390千円(前年同四半期は10,314千円の減少)となりました。これは主に、保険積立金の解約による収入8,732千円、従業員に対する貸付金の回収による収入5,125千円等の収入要因のほか、有形固定資産の取得による支出25,736千円、無形固定資産の取得による支出12,410千円等の支出要因によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は782千円(前年同四半期は123千円の減少)となりました。これは、株式の発行による支出782千円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績について、第2四半期累計期間の業績及び事業環境等を踏まえ見直しを行った結果、2019年5月14日に公表いたしました業績予想の修正を行っております。詳細につきましては、2019年11月7日公表の「工事完成保証損失引当金繰入額及び貸倒引当金繰入額の計上並びに通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	439,829	319,142
売掛金	371,632	123,243
商品	2,087	2,471
未収入金	146,211	56,182
その他	71,251	84,896
貸倒引当金	△23,367	△19,373
流動資産合計	1,007,644	566,562
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	—	22,231
工具、器具及び備品(純額)	683	5,586
建設仮勘定	3,509	—
有形固定資産合計	4,192	27,818
無形固定資産		
ソフトウェア	16,715	15,000
ソフトウェア仮勘定	5,744	19,244
無形固定資産合計	22,460	34,244
投資その他の資産		
差入保証金	113,075	109,807
その他	61,666	97,551
貸倒引当金	—	△34,775
投資その他の資産合計	174,742	172,583
固定資産合計	201,395	234,646
資産合計	1,209,039	801,208
負債の部		
流動負債		
買掛金	18,023	15,752
未払金	212,959	108,764
未払法人税等	7,430	3,035
賞与引当金	3,711	3,313
工事完成保証損失引当金	4,792	26,451
その他	104,262	71,567
流動負債合計	351,180	228,884
負債合計	351,180	228,884
純資産の部		
株主資本		
資本金	427,755	441,215
資本剰余金	426,685	440,125
利益剰余金	3,693	△308,740
自己株式	△274	△274
株主資本合計	857,858	572,324
純資産合計	857,858	572,324
負債純資産合計	1,209,039	801,208

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	564,324	344,440
売上原価	82,631	70,310
売上総利益	481,693	274,130
販売費及び一般管理費	519,351	588,426
営業損失(△)	△37,658	△314,296
営業外収益		
受取利息	132	145
保険返戻金	2,278	3,656
その他	0	—
営業外収益合計	2,412	3,801
営業外費用		
前払費用一時償却額	5,416	416
株式交付費	—	782
その他	—	9
営業外費用合計	5,416	1,208
経常損失(△)	△40,662	△311,702
税引前四半期純損失(△)	△40,662	△311,702
法人税、住民税及び事業税	732	732
法人税等合計	732	732
四半期純損失(△)	△41,395	△312,434

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純損失(△)	△40,662	△311,702
減価償却費	27	3,252
貸倒引当金の増減額(△は減少)	19	30,781
売上債権の増減額(△は増加)	26,646	256,854
仕入債務の増減額(△は減少)	△7,017	△2,270
受取利息	△132	△145
保険返戻金	△2,278	△3,656
未収入金の増減額(△は増加)	42,390	90,029
未払金の増減額(△は減少)	△86,169	△105,285
工事完成保証損失引当金の増減額(△は減少)	△1,083	21,658
その他	△873	△72,683
小計	△69,134	△93,166
利息及び配当金の受取額	105	117
法人税等の支払額	△1,464	△1,464
営業活動によるキャッシュ・フロー	△70,493	△94,513
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△183	△25,736
無形固定資産の取得による支出	△11,321	△12,410
従業員に対する貸付けによる支出	△6,800	△970
従業員に対する貸付金の回収による収入	3,003	5,125
保険積立金の解約による収入	5,598	8,732
長期前払費用の取得による支出	△954	△330
その他	344	200
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,314	△25,390
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による支出	—	△782
自己株式の取得による支出	△123	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△123	△782
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△80,932	△120,686
現金及び現金同等物の期首残高	553,072	439,829
現金及び現金同等物の四半期末残高	472,139	319,142

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。